

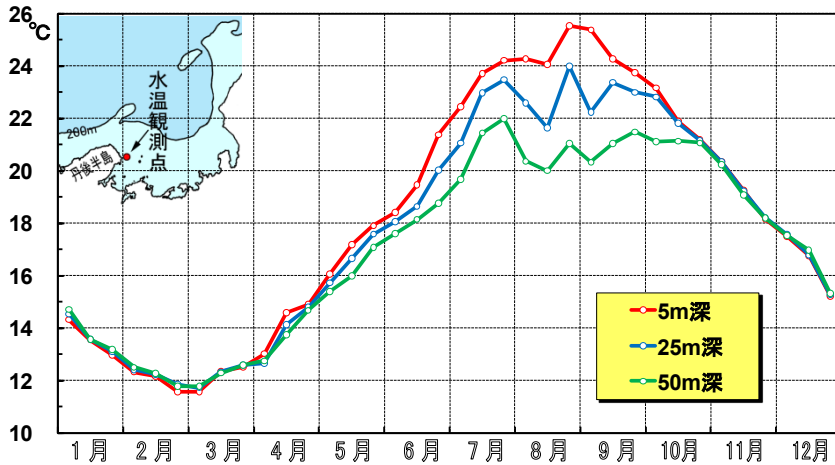
京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況 ～2009 年 1 月から 12 月まで～

冬から春にかけて平年より高水温でしたが、夏には天候不順による日照不足の影響で平年より低水温でした。秋以降、沿岸域では平年並みか平年より低め、沖合域では平年並み～やや高めの水温でした。

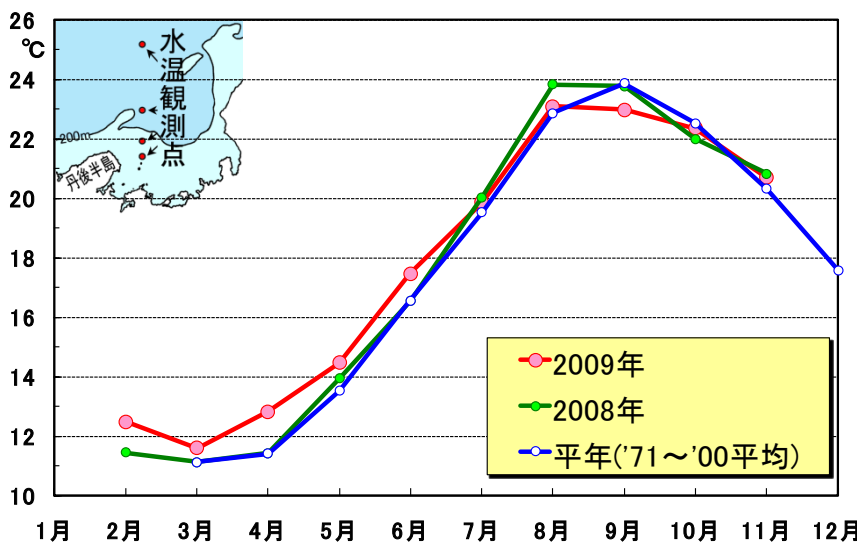
京都府沿岸 (伊根町新井崎地先 海深 64m) の水温



月平均水温と平年差 (括弧内)

単位: °C	5m 深	25m 深	50m 深
1 月	13.6(±0)	13.7(-0.1)	13.8(±0)
2 月	12.1(+0.4)	12.2(+0.2)	12.2(+0.3)
3 月	12.2(+0.7)	12.2(+0.5)	12.2(+0.3)
4 月	14.2(+1.2)	13.9(+0.9)	13.7(+0.8)
5 月	17.1(+1.0)	16.7(+1.0)	16.2(+0.8)
6 月	19.8(+0.1)	18.9(+0.3)	18.2(+0.5)
7 月	23.5(+0.1)	22.5(+0.5)	21.1(+0.6)
8 月	24.7(-1.5)	22.8(-1.6)	20.5(-1.3)
9 月	24.5(-1.1)	22.9(-1.5)	21.0(-1.0)
10 月	22.1(-0.5)	21.9(-0.5)	21.1(-0.5)
11 月	19.3(-0.5)	19.3(-0.5)	19.2(-0.5)
12 月	16.5(+0.1)	16.5(±0)	16.5(+0.1)

京都府沖合の表層水温 (0～50m 深平均)



各月水温と平年差

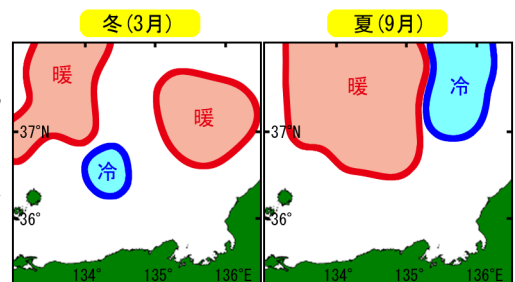
単位: °C	水温	平年差	評定
1 月			観測なし
2 月	12.5		データ過少につき評定なし
3 月	11.6	+0.5	やや高め
4 月	12.8	+1.4	はなはだ高め
5 月	14.5	+0.9	かなり高め
6 月	17.5	+0.9	かなり高め
7 月	19.9	+0.3	平年並み
8 月	23.1	+0.2	平年並み
9 月	23.0	-0.9	やや低め
10 月	22.3	-0.2	平年並み
11 月	20.7	+0.4	平年並み
12 月			観測なし

京都府沖合の水塊配置

資料元: (独)日本海区水産研究所

暖水域は、冬に若狭沖と隠岐沖にあったものが合流し、春から秋に若狭沖よりやや西方に移動しました。

若狭沖の冷水域は、冬から春には弱め、秋以降には平年並み～やや強めの勢力でした。

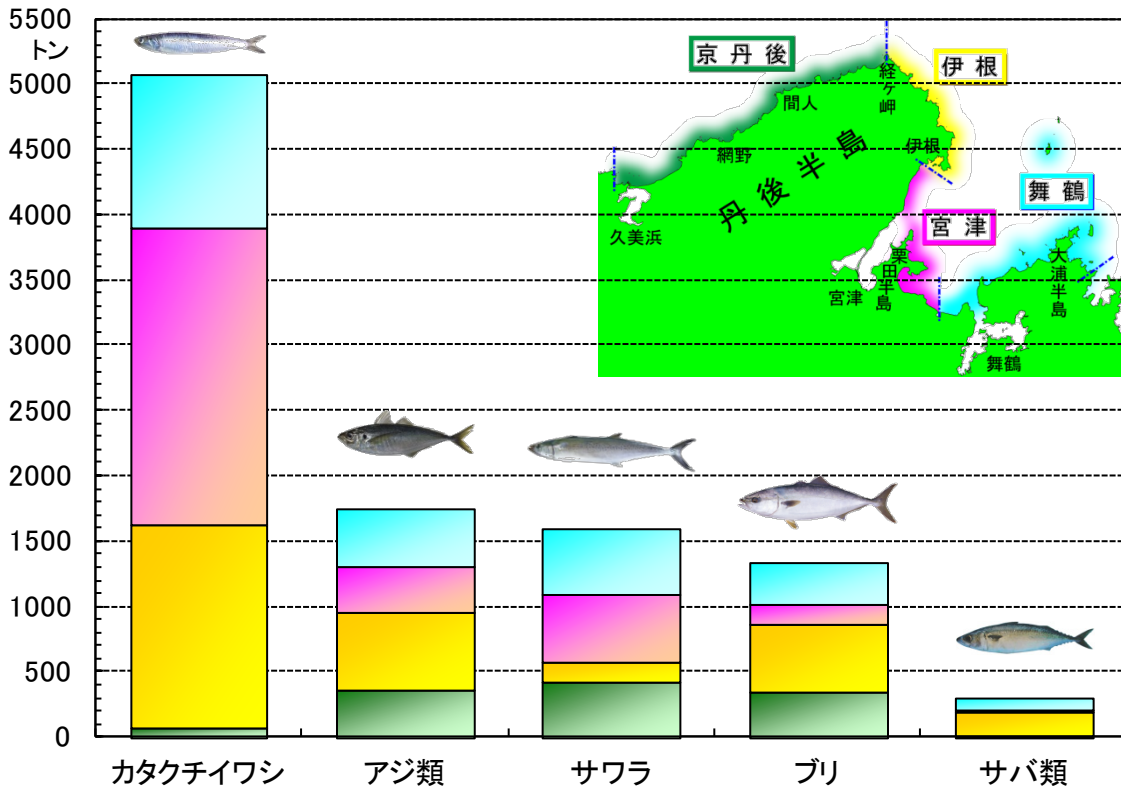


漁模様 ～2009年1月から12月まで～

【定置網漁業】

カタクチイワシが好漁で、全漁獲量の約4割を占めました。その他にはアジ類、サワラ、ブリ類もまとめて漁獲され、全体では平年および前年を上回る水揚げでした。

2009年の地域別漁獲量(上位5魚種)

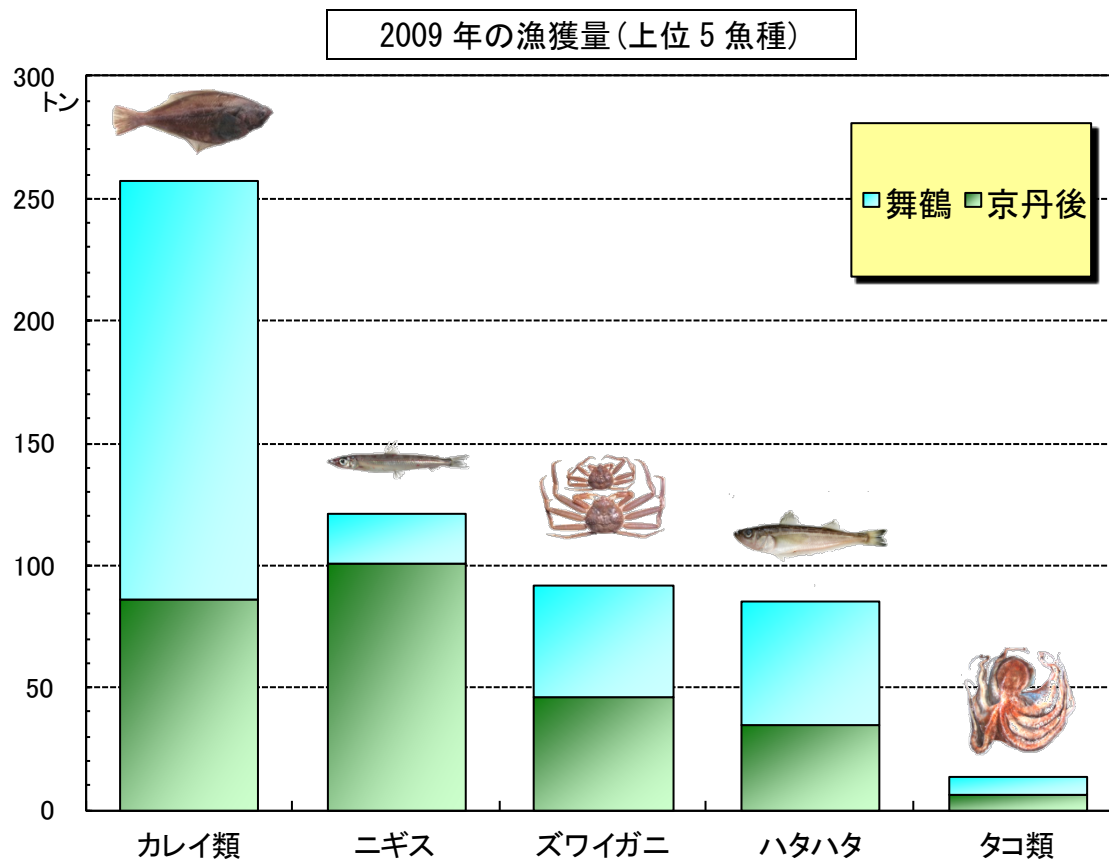


年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2009年	2008年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	5071	1238 (409%)	3001 (169%)	<カタクチイワシ> 混ぜり銘柄(カタクチイワシの他に小さなアジ等も混ぜたもの)も含めて集計。 <サワラ> さごし銘柄が1247トン、さわら銘柄が348トンでした。 <ブリ> つばす銘柄が771トン、はまち銘柄が383トン、まるご銘柄が20トン、ぶり銘柄が168トンでした。 <イカ類> アオリイカ(秋いか)が74トン、ヤリイカ(冬いか)が41トン、ケンサキイカ(白いか)が34トン、スルメイカが31トン、ソデイカ(たるいか)が32トンなどでした。
アジ類	1743	1502 (116%)	2270 (77%)	
サワラ	1595	2138 (75%)	1100 (145%)	
ブリ	1342	1482 (91%)	1051 (128%)	
サバ類	301	263 (114%)	363 (83%)	
カツオ類(そうだがつお)	228	233 (98%)	230 (99%)	
イカ類	226	282 (80%)	537 (42%)	
トビウオ	183	237 (77%)	162 (113%)	
カマス類	175	263 (66%)	196 (89%)	
シイラ	141	397 (35%)	247 (57%)	
その他	1454	1263 (115%)	1630 (89%)	
合計	12458	9298 (134%)	10786 (116%)	

平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

全体の漁獲量は平年の約8割および前年の約7割でした。前年に豊漁であったハタハタの落ち込みが影響しました。

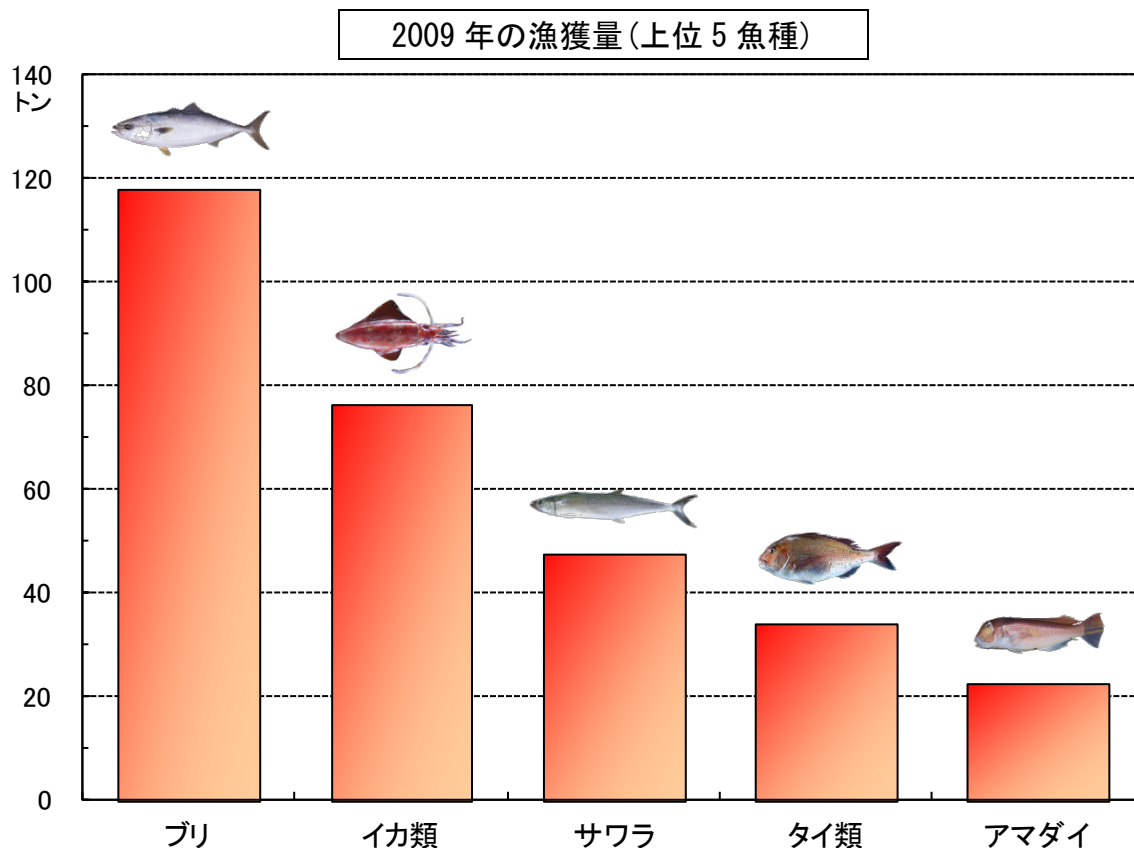


年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2009年	2008年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	257.7	226.8 (114%)	258.9 (100%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が167トン、ソウハチ(えてがれい)が34トン、ヒレグロ(黒がれい)が32トン、ヤナギムシガレイ(ささがれい)が14トンなどでした。
ニギス(沖ぎす)	121.5	126.7 (96%)	122.7 (99%)	
ズワイガニ	92.0	103.6 (89%)	138.2 (67%)	
ハタハタ	85.8	440.8 (19%)	204.6 (42%)	
タコ類	13.7	16.4 (84%)	20.1 (68%)	
エビ類	11.1	7.1 (156%)	6.5 (169%)	<ズワイガニ> オス(松葉がに)が45.1トン、メス(せこがに)が46.9トンでした。
貝類	9.3	8.7 (107%)	8.1 (115%)	
タイ類	8.3	12.7 (65%)	11.7 (71%)	京都府では前年漁期から水ガニの漁獲を自主的に禁止しています。
イカ類	5.6	6.1 (92%)	14.0 (40%)	
タラ	4.3	2.9 (151%)	0.8 (565%)	
その他	65.7	52.9 (124%)	81.8 (80%)	
合計	675.0	1004.8 (67%)	867.5 (78%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】




ブリやサワラは好漁、イカは不漁でした。全体では平年の9割強および前年並みの水揚げでした。



年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2009年	2008年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	117.9	82.6 (143%)	61.1 (193%)	<ブリ類> つばす銘柄とはまち銘柄が合わせて96.8トン、まるご銘柄が19.6トン、ぶり銘柄が1.5トンでした。
イカ類	76.5	97.7 (78%)	152.0 (50%)	
サワラ	47.6	50.9 (93%)	17.9 (265%)	
タイ類	34.1	32.8 (104%)	35.8 (95%)	
アマダイ(ぐじ)	22.4	28.6 (78%)	27.9 (80%)	
メバル類(もいお)	14.3	15.8 (90%)	16.4 (87%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)が35.5トン、スルメイカが33.7トン、ケンサキイカ(白いか)が4.1トン、ヤリイカ(冬いか)が0.9トン、アオリイカ(秋いか)が0.7トンなどでした。
アジ類	9.0	3.9 (232%)	10.4 (87%)	
スズキ	4.6	2.4 (190%)	7.2 (64%)	
カレイ類	1.4	1.5 (90%)	2.6 (53%)	
タチウオ	1.1	1.9 (61%)	6.0 (19%)	
その他	34.4	38.2 (90%)	53.8 (64%)	
合計	363.3	356.4 (102%)	391.3 (93%)	

平年は過去10年平均

【特異的なできごと】

一月	<ul style="list-style-type: none"> ・サワラが定置網で好漁。月間でさごし銘柄(尾さ長 40cm~50cm)が平年比 3.3 倍の約 182 トン, さわら銘柄(尾さ長 50cm 以上)が平年比 3.1 倍の約 61 トン。 ・ブリが定置網で好漁。月間でぶり銘柄(体重 4kg 以上)が平年比 2.6 倍の 76 トン。 ・クロマグロが定置網で好漁。月間でよこわ銘柄(体重 3~4kg 級)が平年比 21 倍の約 35 トン, 中しび銘柄(体重約 15kg~)が平年比 4.5 倍の約 15 トン。 ・マイワシ(体長 16cm 前後)が阿蘇海の刺網で連日漁獲。 	
二月	<ul style="list-style-type: none"> ・サバ類が定置網で好漁。月間で小さば銘柄(尾さ長約 25~30cm)が平年比 3.1 倍の約 190 トン。 	
三月	<ul style="list-style-type: none"> ・カタクチイワシ(体長 5~15cm, 11~14cm 主体)が定置網で好漁。3 月~4 月に平年比 2.4 倍の約 2870 トン。 	
四月	<ul style="list-style-type: none"> ・強い刺胞毒を持つオキクラゲ(傘径 10cm 未満)が, 4 月~5 月にかけて丹後の海にまとまって出現。 	
五月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリが定置網で好漁。月間ではまち銘柄(尾さ長 33~45cm, 38~42cm 主体)が平年比 2.7 倍の約 245 トン。 	
六月	<ul style="list-style-type: none"> ・マアジが定置網で好漁。月間ではあじご銘柄(尾さ長 4~10cm, 5~7cm 主体)が平年比 2.2 倍の約 329 トン。 	
七月	<ul style="list-style-type: none"> ・桁びき網のトリガイ漁が低調。宮津では 1 日~10 日までの 2600 個の水揚げを以て漁期終了。また, 舞鶴湾では 5 月 17 日から 7 月 27 日までに約 2000 個の水揚げがあった。 	
八月	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者が丹後沖を漂流するエチゼンクラゲを当年初確認(1 日)。5 日には定置網に初入網。例年より半月以上早い出現。 	
九月	<ul style="list-style-type: none"> ・エチゼンクラゲの襲来で定置網や底曳網の操業に悪影響。 	
十月	<ul style="list-style-type: none"> ・エチゼンクラゲ襲来のピーク(下旬に大型定置一網あたり府内平均約 1700 個入網)。過去最大級といわれた 2005 年並みかそれ以上の大量出現。 ・台風 18 号の本州通過で急潮と高波が発生し, 各地で定置網損壊(8~10 日に大型定置網 6 統被災)。 	
十一月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリが舞鶴田井の定置網で好漁(15 日に体重 7~10kg 級主体で約 1350 尾)。 ・相次ぐ温帯低気圧通過で急潮と高波が発生し, 各地で定置網損壊(11~16 日に大型定置網 9 統被災)。 	
十二月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリが新井崎の定置網で好漁(中下旬に体重 7~10kg 級主体で約 3000 尾)。 ・深海魚のリュウグウノツカイが年末年始にかけて各地の定置網に入網。 	